

(株)やどかり
代表取締役

PICK UP

THE PERSON

松澤 隆之

KEY WORD

仲間

— nakama —



「私の役目は仲間に楽しい仕事や
やりがいのある仕事を与えること」

スマートフォンやタブレットアプリの開発・企画、Webサイト開発、ITコンサルティングなど幅広い事業を手掛けている『やどかり』。同社は積極的に若手人材や海外人材、遠方の人材も採用しているという。「新しいものを生み出していくためには、楽しく働くことが重要です」。そう語る同社の松澤社長は共に働く従業員を「仲間」と呼び、風通しの良いダイバーシティな会社作りに尽力している。仲間を思いやり、仲間と共に成長を続ける社長が目指すのは、淡々と仕事をこなす「クール」なIT業界のイメージを覆すことだ。



松澤 隆之

代表取締役

東京都町田市出身。大学時代卒業後は営業などを経験し、その後IT業界で起業することを目標に25歳でIT企業に就職。友人の起業などを経て、数名の仲間と共に『やどかり』を設立した。現在はスマートフォンアプリの制作・開発をメイン事業とし、Webサービス・IoTを通じた業務効率化の提案などを手掛けている。

「社員というよりも「仲間」というスタンスでいたいという社長の想いがあるので、勝手ながら、IT業界はクールなイメージがありましたよ。」
おっしゃる通り、クールに仕事をこなす必要のある業界ということもあり、クールな会社が多いと感じます。しかし当社ではクールな仕事が多い分、雰囲気を変えようと思っっているんです。よく、社内の仲間とも飲みに行ったりしているんですよ。特に

「世の中がそうならいけば嬉しいですね。基本の考え方として、雇用関係も大切ですが、何より信頼関係が大切だと感じています。お金をもらえるから仕事をしたいというよりは、お互いに一緒に仕事をしたいと思える人と働きたいですね。たとえば「社員は何人いるの？」と聞かれた時、私は「仲間がこれだけのよ」と答えるんです。人には「一人でやったほうが儲かる」と言われることもありましたが、私にとってはお金よりも仲間が大事なんです。」

「実際に当社も元々は社員として働いていたベトナムスタッフが、帰郷後にフリーランスとして手伝ってくれたことがあり、海外から一緒に働いた経験があるんです。」
「リモートワークが進み、場所に縛られず人材の輪を広げていければいいですね。」

「海外の仲間は食も文化も異なるため、いろいろ話ができ、本当に楽しいです。今は仕事も増えて、いろいろなタイプの人がいることで輪が広がっていると感じます。」
「楽しむことが皆さんのモチベーションにつながっているんですね。今後、御社はどのような目標を持っておられますか。」



「彼らを引き連れて、2017年7月に『やどかり』を立ち上げたのです。徐々にメンバーも増え、2019年の12月に今のオフィスへ移転。最初は半分くらいの席しか使用されていませんでしたが、この1年でさらにメンバーが増えてきましたよ。」
「順調に成長を続けられているんですね。ところで、御社は若い社員さんが多い印象を受けました。」
ええ。当社では若い人を積極的に採用しています。さらに、どのように他社と差別化を図るのかと考え、当社は国籍や性別などにとらわれず、人材を広く採用することになっているんです。現在はベトナム・韓国・ミャンマー・バングラデシュなど海外出身の仲間も一緒に働いてくれていますよ。」

CHECK POINT

仲間と共にIT 起業の強みをさらに広げていきたい

- 動画配信アプリの制作に携わるなど、アプリの制作・開発をメインに手掛ける『やどかり』。同社の松澤社長は、環境や成長に合わせて住まいを変えながら生きるヤドカリをお手本に、場所にとらわれない働き方や、多様な人種を受け入れるダイバーシティな会社づくりを追求。また共に働く社員を「仲間」と呼び、「IT業界のクールなイメージを払拭したい」と日々奮闘している。
- 近年、様々な問題が浮かび上がる中で、日本がまだITやデジタルをフル活用できていない現実に懸念を抱いてい

るという社長。アナログの良さは十分に理解しつつも、スピードと正確性が求められる時代にITやデジタルは必要不可欠な存在だ。
●今後は基盤となるルールを構築する意向の社長。より良い物を作っていくためには一歩踏み込んでいくことが大切との考えを、仲間とも共有していきたい構えだ。また「仲間だけではなく、お客様にもこの思いが伝われば嬉しい」と語る。思いを分かち合う「仲間」がいるからこそ、目標を高く持ってチャレンジし続けることができるのだろう。

国籍、年齢、働く場所の垣根を越えたダイバーシティな会社づくりの推進でIT業界のイメージを変えていきたい

スマートフォンやタブレットアプリの開発・企画・実装・リニューアル、Webサイト開発、ITコンサルティングなどを手掛けている『やどかり』。同社の松澤社長は若手や海外の人材の積極採用、フリーランス契約やノマドワーキングの推進など柔軟なアプローチで事業を展開し、グローバル企業を目指す。本日はタレントのつまみ枝豆氏が同社を訪れ、社長にインタビュー。会社づくりの極意を教わった。



●ゲストインタビュー
つまみ枝豆 (タレント)

「早速ですが松澤社長の歩みからお聞かせ下さい。」

「東京都町田市出身です。小学2年生まで町田で過ごしていましたが、製造業をしていた祖父の後を両親が継ぐことになり、浅草へ移ったのです。それを見て、私も幼いながら経営者になることや、親の後を継ぐことを考えていた時期もありました。」
「そうだったのですか。ではどのような道に進まれて？」

「青山学院大学」に進学した私は、そこでIT分野で起業する学生が周りにいる環境に刺激を受けました。卒業後は飛び込みの営業マンをしていたのですが、やはり「IT業界で起業したい」との思いが強くなり、25歳のころにこの業界へ入ったのです。5年ほどIT企業で修業し、30歳ごろからは友人や知人と一緒に仕事をして経験を重ね、前職ではナンバー2として勤めました。その会社を辞めると決断した時に「一緒に働きたい」と言ってくれた人が何人かいます。

「ほう。どのようにそのような人材を探されるのでしょうか。」
当社のホームページから連絡をいただくこともありますが、中には現地から直接連

「海外の仲間と話していると、日本は世界に遅れを取っていると感じます」と語られた松澤社長。おっしゃる通り、昨今は『働き方改革』が浸透していく中で、我々が経験したバブル期に比べて“働くことの楽しさ”自体が失われつつあるように感じます。本日の対談は日本の将来についても考えさせられる、とても有意義なものでしたよ」



株式会社 やどかり

東京都台東区浅草橋 5-5-5 THビル 3階
URL : <https://www.yadokari.tv>